



運転者に安全運転を呼びかける園児たち

7/31 「安全運転」園児たちが呼びかけ 梅沢保育所 交通安全街頭啓発

五所川原地区交通安全協会梅沢支部と梅沢保育所の園児たちが、横薗ふれあいセンター前で交通安全街頭啓発を行いました。

この活動は鶴田交番の警察官立会いのもと毎年行われています。園児たちは停車した車の運転者に「安全運転をお願いします」と声がけをし、手書きの「こうつうあんぜん」メッセージや反射材、交通安全啓発のチラシを手渡していました。

8/8 子どもも大人もみんなで水遊び！ 水ドン2nd

富士見湖パークにおいて、地域の有志でつくる「富士見湖パーク・プロジェクト（通称：ミコプロ）」主催によるイベント「水ドン2nd」が開催されました。

同イベントは、昨年大好評を博した水鉄砲リアルアクションイベントの第2回目。当日は子どもから大人まで町内外から約160人の参加者が集まりました。参加者たちは、お気に入りの水鉄砲を手に縦横無尽に駆け回り、容赦なく水をかけあいながら、夏の暑さを忘れて大はしゃぎ。会場内には終始、爽快な笑い声と歓声が響き渡っていました。



鬼が持っている竿の紙めがけて水鉄砲を撃つ子どもたち



相川町長（前列中央）とユースの会設立関係者たち

8/10 更なる発展に向けて 若手生産者集結 つるたスチューベン・ユースの会総会

町内の若手生産者が集結し、スチューベン・ユースの会を設立しました。

同会はスチューベンの更なる発展や担い手育成、経営能力の向上などが目的で、会員は町内でスチューベンを生産する農家16名。今年度は定例会のほか、9月下旬に宮下宗一郎県知事への表敬訪問と12月上旬に東京都で販売・PRを行う予定です。

相川町長は「知恵を出し合い、幅広い挑戦をして欲しい。また、スチューベンを次世代へつなぐ原動力となることを期待している。」とエールを送りました。

鶴田町・フッドリバー市 姉妹都市50周年フォトコーナー



姉妹都市締結50周年を祝う訪問団と笑顔で迎えた町民のみなさん

Hood River News

8月6日から12日にかけて、鶴田町はオレゴン州フッドリバー市から20名の中高生と4名の引率者を温かく迎え入れました。姉妹都市の友人たちと交流し、互いの理解を深め、国際的な絆を強化する素晴らしい機会となりました。彼らは町内の小中高校や鶴の舞橋、そして近隣観光施設の見学やホストファミリーとの時間を楽しみました。フッドリバー市民の次の来訪も楽しみにしています！

（筆：シェリー・ザンスラー）

8/15 終戦から81年 戦没者悼む 令和8年度鶴田町戦没者追悼の献花

終戦から81年を迎えた8月15日、町国際交流会館において、令和8年度鶴田町戦没者追悼の献花が行われました。

会場には献花台が設けられ、訪れた44人が献花台に花を捧げ、先の大戦で犠牲となった戦没者457人の冥福を祈り、戦後81年が経過した今、悲惨な戦争の記憶を風化させることのないよう、恒久平和への願いを新たにしました。



訪れた方々は戦没者の冥福を祈り平和を祈念していました



花火セットをもらって笑顔な園児たち

8/18 花火で楽しい夏の思い出を 鶴田ライオンズクラブ 手持ち花火の寄贈

鶴田ライオンズクラブ（山口俊輔会長）は家族で夏を楽しんでもらいたいと、町内7か所の幼稚園・保育所に手持ち花火セット約300人分を寄贈しました。

同クラブによる寄贈は毎年行われており、今回で7回目。水元保育園で行われた贈呈式では山口会長から園児に花火セットが手渡され、花火を受け取った園児たちは感謝を伝えていました。

山口会長は「この花火が家族との楽しい思い出作りのきっかけになってほしい」と語っていました。

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ

2026

翔ける未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会 第25回全国障害者スポーツ大会

出場選手紹介



アーティスティック スイミング(少年女子)

〈9月3日/青森市〉
佐藤 なな



バスケットボール(成年女子)

〈10月5日～8日/むつ市〉
斎藤 和



柔道(成年男子)

〈10月17日～19日/つがる市〉
永田 大和

国スポあおもりに出場する町出身の選手を一部紹介します。
(敬称略)

詳しい出場者は「青の煌めきあおもり国スポ公式ホームページ」または各競技協会の公式サイトをご確認ください。

地域おこし 協力隊通信

Vol.111 (筆: 佐藤 真生)

7月から地域おこし協力隊に着任しました、佐藤真生です。引っ越してきて1ヶ月が過ぎました。東京で過ごしていた時間とは違い、ゆっくりな時間を過ごしています。

先日行われた「つるたまつり」では、ねぶたの運行に参加させていただきました。参加者の活気に満ち溢れた姿に圧倒されながらねぶた運行をし、久しぶりにお会いした人達とも話せてお祭りを満喫できました。他にも「水ドン」、「勝手に前夜祭」などさまざまなイベントにも参加させていただき、この夏は家族で楽しむことが出来ました！企画、運営の方々ありがとうございました。

いま私は TSURUTA LABO で管理、運営のサポートをしています。その他にまだ1か月で慣れていないことも多々ありますが、これからイベント企画と協力隊の先輩から引き継いだ移住者カフェも頑張っていきます。



▲水ドンに参加した佐藤真生隊員

地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を「地域おこし協力隊員」として町が委嘱。隊員には、地域おこし支援や地域協力活動を行っていただき、その地域への定住・定着を図る取組。